

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	111		施策名	防災体制の充実・強化
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)		
まちづくりの基本目標	11	安全・安心に生活できるまち		
担当部	総務部		担当課	防災防犯課

2. 施策の方向

10年後の姿	さらなる防災意識の高まりにより、自助・共助の防災体制が構築されるとともに、公助の役割を担う消防や関係機関との連携体制が整っています。			
施策の方向性	1	危機管理体制を整えて、いざというときに備えます		
	2	都市基盤の安全性を高めます		
	3	地域における防災力の向上に取り組みます		
	4	災害時の円滑な避難所運営に備えます		
	5	災害時の医療救護体制を整備します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
地域福祉総務事業	3	福祉総務課	4,750
災害医療対策事業	5	健康推進課	71
道路維持補修事業	2	道路交通課	84,018
特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	2	都市計画課	42,302
住宅支援事業	3	都市計画課	3,540
消防事務委託事業	1	防災防犯課	938,866
消防団運営事業	3	防災防犯課	33,436
車両管理事業	3	防災防犯課	24,568
防災対策事業	1、2、3、4、5	防災防犯課	25,025
総係費	2	下水道課	118,790
公共下水道建設改良費	2	下水道課	739,134
総事業費(施策の合計)			2,014,500

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	自主防災組織の組織数		目標値	24	20	21	22	23
	説明	市内各自治会等自主的な防災組織	単位 団体	実績値	19	19			
	抽出方法	所管課統計		達成率	79.2%	95.0%			
②	名称	学校避難所運営協議会の住民主導団体		目標値	12	14	12	14	14
	説明	地域が主体となった学校単位の協議会	単位 団体	実績値	10	10			
	抽出方法	所管課統計		達成率	83.3%	71.4%			
③	名称	地域における防災訓練の実施数		目標値	30	24	20	26	27
	説明	自主防災組織や自治会など自らの防災訓練を実施する組織数	単位 団体	実績値	17	10			
	抽出方法	所管課統計		達成率	56.7%	41.7%			
④	名称	災害に備えて避難場所の確保や食料備蓄、非常用持出品の用意をしている人の割合		目標値	50.0	50.0	55.0	55.0	55.0
	説明	—	単位 %	実績値	50.3	50.3(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	100.6%	100.6%			

※④抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価)	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地震対策だけでなく台風等による都市型風水害対策などの総合的な自然対策に備え、令和3・4年度で清瀬市地域防災計画の見直し、国や東京都などの取組の整合を確保するほか、災害に係る新たな教訓を踏まえた内容への改変作業を滞りなく行うことができた。今後、市民への周知を図るとともに訓練や災害時に活用していく必要がある。</li> <li>●市内幹線道路の整備・改修を推進し災害時の輸送確保につなげるとともに、耐震改修促進計画に基づく倒壊危険家屋の解消や住宅の不燃化促進、災害医療救護対策など、ハード、ソフトの両面から総合的に取組みを推進している。</li> <li>●水害に備え、新型コロナウイルス感染症が沈静化していない中であっても水害に対する一人一人の対応力を高めるため、縮小しつつも、土のう作成体験や地域参加型の避難所開設運営訓練を盛り込んだ水防訓練を実施した。</li> <li>●新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会加入率の低下に相まって、自主防災組織の組織化が進まない状況にある。総合防災訓練や水防訓練時、出前講座において今後も啓発していく一方、地域によっては避難所運営協議会等の充実を促進することによって地域の防災力を高める必要がある。引続き、避難所の備蓄食料や資機材の充実、スタッフの運営力向上を図るとともに、地域の主体的な運営が全ての避難所で実現できるよう進めていく。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症は沈静化しているが、引き続き、感染対策に配慮した防災体制の確保が必要となる。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題                      自治会組織率が低下する中においても、住民主体の防災体制の拡充を図る必要がある。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組                      組織数を増加させるため、防災訓練や水防訓練などイベント開催時に、自主防災組織の周知を行う。</p>
②	<p>施策を進める上での課題                      新型コロナウイルス感染症の影響により、避難所運営協議会の開催が停滞していた。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組                      新型コロナウイルス感染症が沈静化してきたため、開催回数を増やすとともに、避難所運営協議会を中心に地域の役割づくりを進めながら、更なる住民主導化に努める。</p>
③	<p>施策を進める上での課題                      大規模災害時は、対応する人員が不足することが想定されるため、人員確保が必要である。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組                      特定の役割・活動(消防ポンプ自動車による消火活動の補助、また倒木やがれきなどを重機によって排除等)をあらかじめ限定した、機能別分団を創設するため、重機等の運転可能な人員の確保に努める。</p>
④	<p>施策を進める上での課題                      新型コロナウイルス感染症の対応により、各医療機関との災害時医薬品の備蓄等協議の進捗が遅れがでている。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組                      薬剤及び衛生材料の種類並びにストック方法等について薬事コーディネーターを中心に検討して計画的に進めていく。</p>